

12月のアンケートでは、大変お世話になりました。アンケートの結果は、おおむねよい評価をいただいておりますが、目標に達しなかった項目については、全職員で問題を共有し、原因を分析するとともに改善策を立案しました。その他の項目については、現在の取組を継続し、効果を検証します。今後も、職員一同努力していきます。

羅 針 盤				方 策	前回 総合 評価	今回 総合 評価	改善策
評価対象		評価項目	具体的数値項目				
Ⅰ 確かな 学力 (自ら学び考 える子)	①	学校は児童が「わかった、できた」という授業を行っている。	「授業は楽しく分かりやすい」と答えている児童が80%以上である。	・日々の教材研究に努め、子どもにとって「分かる授業」を心がける。 ・教科担任制、TTによる指導、低中高ブロックによる合同授業など指導形態や指導方法の工夫に努める。 ・体験的な学習活動や問題解決的な活動を取り入れる。 ・全国学力状況調査や標準学力検査などの結果から、本校の課題を明らかにし、効果的な指導を行う。 ・計画的に課題を出し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ・「家庭学習がんばりカード」を活用し、子どもが自分の学習をマネジメントできるようにする。	A	A	・①～③すべてにおいて、目標を達成することができました。さらに向上できるように次のような手立てを実施していきます。 年度初めから校内研修の柱として、教師が「～させる」授業から、児童が「～する」授業へ向けて、引き続き実践してきました。今年度を振り返り、課題を把握し、次年度への研修へつなげられるように校内研修を進めていきます。 一人一授業を実施し、教師間でお互いの授業を見合い、児童が分かりやすい授業づくりに努めます。 テスト等の結果を検証し、児童の苦手な分野を見いだし、必要に応じて、学習のやり直しを行います。
	②	学校は、児童に家庭学習の習慣が身に付くよう適切に指導している。	「家庭学習(読書を含む)を学年×10分以上している」と答えている児童が80%以上である。		A	A	
	③	学校は、ICTを効果的に活用した学習をしている。	ICT(タブレット、映像、プロジェクター等)を使用することによって、学習がわかりやすくなったと答える児童が80%以上である。		A	A	
Ⅱ 豊かな心 (思いやりの ある子)	④	学校は児童があいさつができるように適切に指導している。	「自分からあいさつができる」と答えている児童・教師・保護者が80%以上である。	・校長、教務による朝のあいさつ運動や児童会のあいさつ運動を行う。 ・あいさつの仕方(立ち止まる、帽子をとる、目を見て大きな声で、一礼)を全学年で指導する。 ・係や委員会の指導を通じて、自分の行動に責任をもたせ、自分で考え、自分から行動できる児童の育成に努める。 ・日常の観察や「学校生活アンケート」を実施し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・いじめ事案は、校内で情報共有し、組織的、継続的に指導し100%の解決に努める。 ・児童運営委員会が主体となって、いじめ防止を呼びかける。 ・児童の様子の変化に注意し、声をかけ、児童が悩みや困り事など、教師に話しやすい環境づくりに努める。 ・小さな変化も見逃さないように観察し、声かけをしていく。	A	A	・④～⑦について 目標を達成することができました。さらに向上できるように次のような手立てを実施していきます。 廊下等で教師や来校者へのあいさつがしっかりできる児童が多く見られます。しかし、あいさつに消極的な児童も一部います。あいさつの大切さを適したタイミングで指導をくり返し、気持ちのよい学校生活が送れるように指導していきます。 ・⑦⑧について 児童とのコミュニケーションを大切にし、児童が相談しやすい環境をつくっていきます。生活アンケートの結果だけを鵜呑みにせず、児童の小さな変化にも気づけるようにし、いじめの早期発見、早期解決に努めます。また、職員間で報告、連絡、相談をこまめに行います。
	⑤	児童の自己指導能力を育成している。	「自分の行動は、自分の頭で考えて自分で決めて動くことができる。」と答える児童が80%以上である。		A	A	
	⑥	学校はいじめのない学校づくりを推進している。	学校生活が楽しいと感じている児童が90%以上である。		A	A	
	⑦		学校のいじめへの対応や対策ができていると答える児童・保護者が100%である。		B	A	
	⑧	児童は学校に困ったことや悩みなどを相談できる。	「学校に相談がしやすい」と答える児童が90%以上である。		B	B	

Ⅲ 健康・体力 (心も体もたくましい子)	⑨	学校は、児童が基本的な生活習慣が定着するような働きかけを行っている。	毎日朝食をとっている児童が90%以上である。	・食事と体の成長を関連づけた授業を充実させる。 ・栄養士による朝食の大切さを扱った授業を実施する。 ・陸上、持久走、なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に設定する。 ・朝行事に体育集会を取り入れる。 ・体育の授業で、鉄棒カード、なわとびカードを準備し、自主的に練習ができるようにする。	A	A	・⑨⑩は、目標を達成することができました。さらに向上できるような手立てを実施していきます。 ・⑨⑩について 朝食の大切さについて学級での指導を継続して行います。睡眠不足と朝食をとらないことによって生じる学校生活の悪影響を知ってもらい、その大切さを再認識させます。また、学校からのたより等を通して、保護者にも協力を呼びかけていきます。 ・⑪について 持久走記録会では、練習から努力する児童も多く見られましたが、運動が苦手な児童は、練習に消極的な姿が見られました。20分休み、昼休みには、外で遊び、からだを動かすように学級で声をかけていきます。また、なわとびカード等を配り、スモールステップで児童に少しずつ上達する達成感をもたせ、運動に関心をもたせていきます。
	⑩		毎日1日8時間以上の睡眠をとっている児童が90%以上である。		A	A	
	⑪	学校は、進んで体力の向上を図ろうとする児童の育成に努めている。	進んで体力の向上を図ろうとする児童が80%以上である。		A	B	
Ⅳ 家庭や地域との連携	⑫	学校は、学校の考えや児童の様子を保護者にわかりやすく伝え、理解を得ている。	「学校の考えや子どもの様子が分かる」と答えている保護者が、80%以上である。	・学校だより、学年だより、学級だよりを定期的に配布し、学校ホームページでも学校や児童の様子を保護者や地域へ発信する。	A	A	・⑫～⑭すべてにおいて、目標を達成することができました。さらに向上できるように次のような手立てを実施していきます。 1、2学期に引き続き、学校だより、学級通信、webページを通して、学校の様子、活動を保護者、地域に伝えていきます。行事等で保護者に会う機会には、積極的にコミュニケーションを図り、学校職員に話しやすい、相談しやすい環境をつくっていきます。 第3回学校運営協議会では、前回に引き続き、6年生の児童に熟議に参加してもらい、地域の方とCS活動についての成果や課題について話し合うことができました。 朝学習ボランティアでは、保護者の参加人数も増えました。家庭科や図工の授業のお手伝いに多くのボランティアの方に参加してもらい、今後もボランティアの裾野を広げ、学校と地域が協力して、児童の育成を図っていきたいです。
	⑬		「学校に連絡や相談がしやすい」と答えている保護者が80%以上である。		A	A	
	⑭	学校は、目指す学校像「地域とともに学び、子どもの夢と可能性を育む学校」の実現に努めている。	「している」と答える児童・保護者・教員が80%以上である。		A	A	
Ⅴ 安全確保・施設設備	⑮	学校は、交通事故防止、火災・地震・不審者対策など、安全教育の徹底を図っている。	交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している児童が100%である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室、不審者対応を消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災、地震を想定した避難訓練を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。 また、交通安全教室を実施し、中高学年の児童に自転車の乗り方の指導を行う。 ・学期末の集団下校時に、通学路点検を行い、登下校の安全確保に努める。	B	B	・⑮について 朝の会、帰りの会等で、日常的に注意をしていきます。登下校の交通指導ボランティアの方に引き続き協力していただきます。 登下校中の通学路の危険箇所を把握し、歩道の整備等を関係機関に依頼し、安全確保に努めていきます。 ・⑯について 10月27日、学校公開日にあわせて「地域防災訓練」を実施しました。来年度以降も地域と協同行い、地域の防災の理解を深めていきます。 学校内では、定期的に避難訓練を行い、児童へ防災への意識を高めるとともに、家庭でも防災について話し合いをもってもらうため、便り等で啓発をしていきます。
	⑯		災害や火災発生時の避難の仕方がわかると答える児童が90%以上である。		B	B	
Ⅵ キャリア教育	⑰	学校は、自分の将来の夢や希望について主体的に考えるキャリア教育の推進を図っている。	「将来の夢や希望について考えている」と答えている児童が80%以上である。	・総合や社会、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	A	A	・⑰について 目標を達成することができました。さらに向上するために、引き続きキャリアパスポートを活用し、児童には自分の将来について考える機会をつくります。 ・⑱について 児童がよくできた場面では、小さなことでも賞賛したり、他の児童に紹介したりします。それによって、児童一人一人に自信をもたせ、自分のよさに気づかせるような指導を心がけ、児童の自己指導能力を高めていきます。
	⑱		「自分の持ち味を理解し、それを生かそうとしている」と答えている児童・保護者が80%以上である。		B	A	

保護者からのご意見に対する回答

保護者アンケートの中で、いくつかのご意見をいただきましたが、全体に関わるご意見のみ、ここで回答させていただきます。

コメント： 資源回収を地区の全員でやる行事にしてほしい。または、年1回にしてほしいです。

回答： コメントありがとうございます。地域の方には、お車を運転される方は、直接大島公民館へ持ってきてもらえるように通知で呼びかけ、PTA役員などの一部の方の負担が増えないようにしていきます。また、回収で得られたお金は、児童の活動に使用したり、来年度から児童の校外学習において保護者の金銭的な負担を減らしていくために使う予定です。そのため、来年度も今年度と同じ時期に2回を予定しています。ご理解とご協力をお願いします。

コメント： 運動会を10月下旬～11月に開催していただきたいです。

回答： コメントありがとうございます。夏の時期が長くなり、9月も熱中症が心配です。来年度は10月中旬に開催を予定しています。